

安心できるまちを目指して ～新人消防士の想い～

予防課保安係主事 流 大喜

私の父が消防団員をやっていて、火災のたびに召集がかかり、出勤していく姿を子どものころからずっと見てきました。

人を助けるために出勤していく父がとてまかつよく見えました。そこから消防士という仕事に憧れを持って、なりたいたいと思うようになりました。

約5か月に渡る消防学校での訓練は、当たり前ですが厳しい訓練でした。真夏の暑い中で、防火衣などの重い装備を完全装着して消火活動の訓練をするなど、体力的な面が未熟で、辛いと感じることも多かったです。しかし、早く一人前の消防士になって、先輩や上司に追いつきたいという思いや、全道から集まった同じ消防士を目指す仲間たちがいたことが励みになり、乗り越えることができました。卒業した今では、まだまだ未熟ですが一歩成長できたかなと思います。

現在は、主に保安関係の仕事をしており、危険物を貯蔵するタンクやガソリンスタンドなどの危険物を取り扱う施設へ検査に行き、危険物の流出など火災に繋がるような事故を防いでいます。毎日安心して過ごせるようなまちを目指して、日々の仕事を一生懸命頑張っていきたいと思っています。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆ご存知ですか？ 消防豆知識◆◆◆◆◆◆◆◆◆

PA 連携

たまに消防車と救急車が一緒に駆けつけている場面を見たことはありませんか？ PA 連携といって消防車（Pumper）と救急車（Ambulance）が連携して救急活動を行うことです。

■ □ PA 連携で出動する場合 □ ■

- 救急車まで傷病者を搬送困難なとき（高所、雪道など）
- 危険を伴う現場で、二次災害の防止が必要なとき
- 交通量の多い道路場所で救急事案が発生し、傷病者や救急隊員の安全を確保する必要があるとき
- 上記のほかに、通報内容によって救急隊の活動支援が必要とされるとき

消防車のサイレンの違い

消防車のサイレンには「ウーカンカン」と「ウーウー」の2種類があり、状況によって使い分けられています。

火災現場に向かう際には「ウーカンカン」のサイレンが鳴ります。このサイレンが聞こえてきたら火災出動中です。

「ウーウー」のサイレンは、火災以外で出動する際に使用されます。



消防署のとある1日

▽ 8時30分 勤務交替

一日の仕事の始まりです。前日勤務の職員と交替後、車両や資機材の点検・無線試験を行い、今日の災害出動に備えます。



▽ 8時50分 申し送り・ミーティング

仕事の引き継ぎと今日の仕事について当番の職員で打ち合わせを行います。

▽ 9時00分 事務処理・防火指導・水

- ・ 防火指導 事業所などに対して防火の指導を行います。
- ・ 事務処理 災害報告書や訓練計画などの事務処理を行います。



▽ 12時00分 昼食

▽ 13時00分 事務処理・訓練

・ 訓練 火災や救助、救急などの訓練を行います。



災害対応

上記の仕事をごこなしながら対応します

救急発生

出動1件目



救急発生

出動2件目



消防の最新機器・車両紹介

★ドローン★

今年の6月に導入したドローンは、衛星からの電波とGPSによって位置情報を読み込み、ドローンに搭載されているセンサーで安定した自動水平飛行が可能となっています。また、障害物センサーが反応するとそれ以上障害物には進まなくなるので、ドローンが障害物に衝突する危険性はほぼなく、安全性が確保されています。主な使用用途としては、河川や遊水地、沼地などにおける水難救助事案や、人が侵入することが難しい土砂災害などで、行方不明者捜索のために使用します。そのほか、地震などの大規模災害では、被害把握のために上空からの撮影を行います。



★災害広報車★

今年の3月に導入した災害広報車は、トヨタハイラックスをベースとした車両で、道内の消防において初の導入となります。後部荷台に小型ポンプ、吸管、ホース、土のうを積載し、自然災害での水防活動や広報活動など、さまざまな用途で活用されます。



どんな場合に、どう呼べばいいの？ もしものときの救急車の利用法

急な病気やけがをしたとき、119番通報して救急車を呼んだ方が良いのか迷うことがあると思います。

緊急性が高いと判断したときは、迷わず迅速に救急車を要請してください。

しかし、症状が軽症で自力歩行が可能であり、家族の自家用車やほかの交通機関を利用できる方が安易に救急要請をすることは望ましくありません。救急車や救急隊員の数は限られています。複数の軽症の方が、救急車を同時に利用した場合、重症度や緊急性が高い方の医療機関への搬送が遅延し、助けられる命が危険にさらされてしまう可能性があります。

一人でも多くの命を救うために救急車の適正利用をお願いします。

 119番通報したら、こんなことを聞きます。

住所

電話番号

目印になる建物

- 誰が、どうしたのか（病気、けが、交通事故など）
- （具合が悪い方の）年齢、性別
- 一緒にいるか？（頼まれて通報しているか？）
- 呼吸は楽にしているか？（普段どおりの呼吸か？）
- 冷や汗をかいていないか？
- 顔色は悪くないか？
- 普通に話ができるか？
- 症状を詳しく

など

■（普通・上級）救命講習、一般講習、救急に関する講座も受け付けていますので、救急係☎2196までお問い合わせください。

▽17時00分 車両点検
消防車両の清掃および点検を行います。

▽17時15分 夕食

▽18時00分 夜間業務

- ・夜間訓練 救急シミュレーション、特殊災害の机上訓練などを行います。
- ・自主訓練 筋力トレーニングなどを各自で行います。



▽21時45分 通信勤務・仮眠

- ・通信勤務 仮眠時間中も交替しながら2時間ずつ起きて通信勤務をします。災害が発生した場合、出動隊は起きて対応します。



▽6時30分 起床、事務

起床後、勤務交替までに事務処理や文書の整理などを行います。

▽8時30分 次の勤務者と交替

最近は救急出動が多くなっています。火事や事故に気をつけましょう。



救急救助
発生

出動4件目



火災
発生

出動3件目



通信指令室～火事・救急・救助は119番～

慌てず落ち着いて指令員の質問に教えてください！



通信指令室では、最先端の緊急通信指令システムを整備しています。職員が24時間365日交替で勤務し、火災・救急・救助などの119番通報の受け付けを行い、災害に応じた出動指令を出しています。また、災害現場で直ちに活動が開始できるよう、無線で災害現場の状況や傷病者の詳しい状況を連絡しています。

119番に間違つて電話した場合
間違つて119番に通報した場合、慌てて電話を切らずに「間違いで通報」したことを伝えてください。無言で電話を切った場合、指令室から何度も確認の電話をしたり、位置情報から場所を特定し、万が一の事態を想定して救急車や消防車を出動させることがあります。

統合型位置情報通知システム

NTT固定電話・携帯電話・IP電話などから119番通報することによって、発信者位置情報を指令台のモニターに表示できるシステムです。このシステムにより迅速な災害対応が可能となります。

携帯電話からの119番通報

市内からの携帯電話での通報は、砂川消防署につながります。ただし、境界付近では隣接する消防につながる場合があります。電話は管轄する消防に転送されますので、電話を切らずにお待ちください。また、消防から再度状況を確認する場合がありますので、通報後しばらくは電源を切らないでください。

□頭指導

119番通報で救急車を要請された場合、住所が確認できた時点で直ちに救急車は出動します。

慌てて電話を切らずに、症状を教えてください。症状によっては、救急車が到着するまでの間、指令員が心肺蘇生法・異物除去法・止血法・熱傷手当など、必要な応急手当の方法を電話口で伝えます。皆さんのご協力をお願いします。



このような通報は、ご遠慮願います！

●「サイレンを鳴らさないで来て」

消防車両は、緊急の要請で出動し現場に駆けつける必要があります。このことから、安全上および法律上サイレンを鳴らさないで緊急走行することができません。皆さんのご理解をお願いします。

●「サイレンが聞こえるのだけど、どこの火事ですか？」

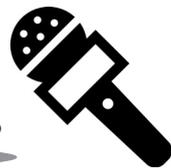
119番は災害案内窓口ではありません。また、119番回線には限りがあります。災害の情報を確認したい方は、災害情報確認ダイヤル④3333で確認をお願いします。

●「緊急ではないのだけど・・・」

救急車を呼ぶほどの「緊急」ではないが、通院や入・退院、転院および社会福祉施設などへの送迎など、ストレッチャーや車椅子などで移動したいという場合、民間の患者等搬送事業者をご利用ください。救急車には限りがあります。本当に必要な人のためにもご協力をお願いします。

地域の防災リーダー！

砂川消防団インタビュー



消防団員募集！

砂川消防団では消防団員を募集しています。

▶入団資格

- ・市内に居住していること
- ・18歳以上であること

▶お問い合わせ

消防団係 ☎ 2 1 9 6

消防団の活動

消防団とは、火災・水害・地震などの災害発生時に、自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を生かした活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。

砂川消防団は団本部、第1分団、第2分団、第3分団の4つの分団で構成され、消防防災のリーダーとして、地域に密着し住民の安心と安全を守るという重要な役割を担い、近年では高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及なども行っています。

自分のまちは自分たちで守る

消防団は、異業種の人が集まる団体組織ですが、団結力が強いです。堅いイメージを持たれがちですが、お酒を交えた交流やスポーツ交流の機会もあります。少しでも興味がある方はぜひ入団を！



△消防演習の様子

当時の元団長に声をかけられ消防団に入団してから今年の12月でちょうど40年になります。現在は51人が所属する砂川消防団で団長を務めています。消防団の訓練では、規律訓練や水防訓練、放水訓練、機械員訓練などがあり、いざというときに最善を尽くせるよう、真剣に訓練に取り組んでいます。消防団には幅広い世代の団員があり、団長として、若い団員とは積極的にコミュニケーションをとり、できるだけ褒めて成長させるように心がけています。

火災で亡くなられる方が全国的にも多く、出動した現場でも命を落としてしまった方をいくつも見てきました。その度に、助けられなかったと無念の気持ちが入り込んできます。もし家で火災が発生してしまった場合、まず家から逃げて自身を守ることが大切です。決して物を取りに戻ってはけません。



砂川消防団
団長

田川 正人さん



砂川消防団
団本部部长
田中 希さん

「ありがとう」と言われたときにやりがいを感じます

私が消防団に入団してから、20年が経ちました。知人が消防団に所属をしていて、その活躍を見聞きしているうちに感化され、入団を決めました。仕事や家事の傍ら、現在は団本部の部長を務めています。

消防団といえば男性のイメージが強いかと思いますが、砂川消防団では現在5人の女性消防団員が所属しています。実際の火災現場へ出動したりなど、危ない状況下に置かれることはほとんどなく、普段は中学校や高校、その他イベントへ、AEDの使用方法や心肺蘇生法などの普及を目的とした救命講習の指導へ赴いたりしています。講習での指導が終わったあと、「わかりやすかった。ありがとう」と感謝されたときは嬉しかったです。

女性消防団員の活動や存在を今まで知らなかった方が多いと思います。一度入団してから何年も長く続けている方ばかりで、仕事との両立も十分できると思います。これを機に興味を持った方、ぜひ一緒に活動してみませんか。



△救命講習で指導する田中さん